



〔自分の考え〕



観察2 ▶ 火山灰のつくりを調べる



〔目的〕2種類の火山灰を観察し、それぞれの火山灰がどのようなものからできているか確かめる。

〔準備〕黒っぽい火山灰（例：伊豆大島の火山灰） 白っぽい火山灰（例：雲仙岳の火山灰） 保護眼鏡
葉さじ 蒸発皿 ピーカー ろ紙 ペトリ皿 双眼実体顕微鏡 柄つき針 磁石

ステップ1 火山灰を洗って粒を取り出す

- 1 葉さじ1杯の火山灰を蒸発皿に入れる。
- 2 少量の水を加え、親指の腹でおしつぶしながら洗う。
- 3 水を捨てる。水がにごらなくなるまで2を繰り返す。
- 4 よく洗った火山灰をろ紙の上に広げて乾かす。
- 5 乾いたものをペトリ皿に移す。



ステップ2 粒を調べる

- 6 ルーペや双眼実体顕微鏡でのぞき、柄つき針を使ってそれぞれの粒を有色の粒と無色の粒に分類する。
- 7 磁石につく粒がないかを調べる。
- 8 マグマの粘り気が小さい火山（例：伊豆大島火山）と、粘り気が大きい火山（例：雲仙岳）の火山灰の両方を比較しながら調べる。

月 日 天気 年 組 番 名前

【結果の記録】

・黒っぽい火山灰と白っぽい火山灰を比較する。

・粒の種類ごとに、色や形について調べて記録する。粒の形については、種類ごとにスケッチをする。

・磁石につくものがある場合、そのことを記録する。



・黒っぽい火山灰と白っぽい火山灰では、含まれる粒の色や形にどのようなちがいがあるか。

・磁石につく粒は、何からできていると考えられるか。

〔他の人の考えや意見を記録しよう〕